

## 「消防団員の加入促進」についてのアンケート結果

調査時期：平成22年8月

対象者：県政モニター194人

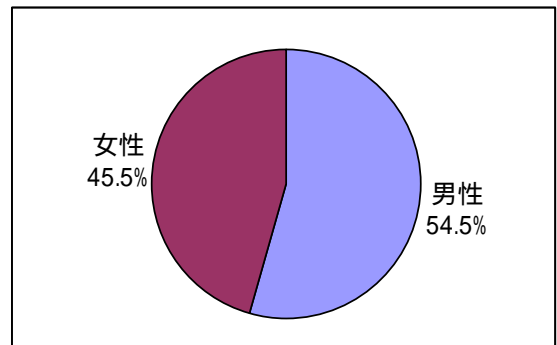
回答数：154人（回収率79.4%）

担当課：防災危機管理局

調査目的：消防団は地域における消防防災の中核的存在である。しかし最近、消防団員は全国的に減少を続けている。そこで県民の消防団に対する認知度、意識等を調査し、消防団の認知度向上や、十分な団員数の確保のための取り組みの参考とする。

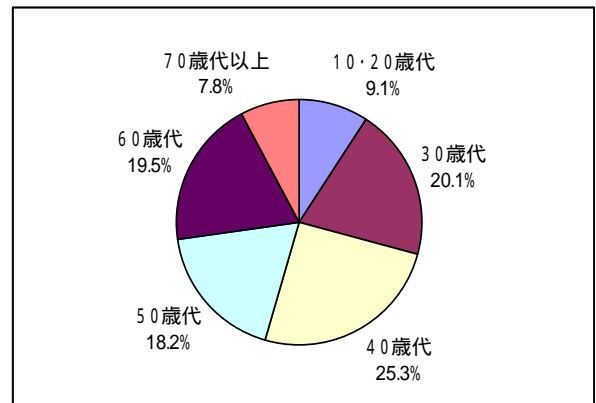
問1 あなたの性別を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
男性	84	54.5
女性	70	45.5
合計	154	



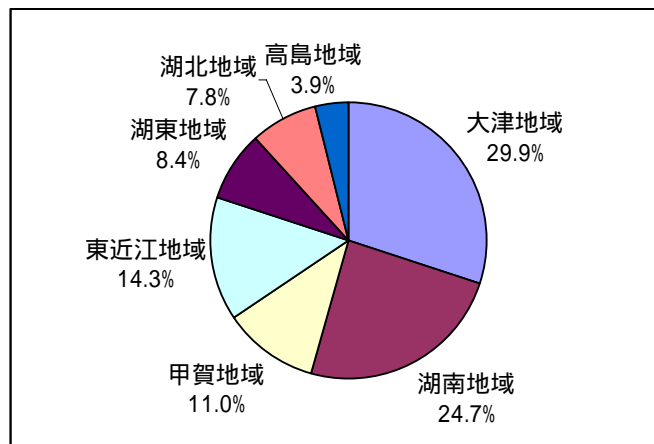
問2 あなたの年齢を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	14	9.1
30歳代	31	20.1
40歳代	39	25.3
50歳代	28	18.2
60歳代	30	19.5
70歳代以上	12	7.8
合計	154	



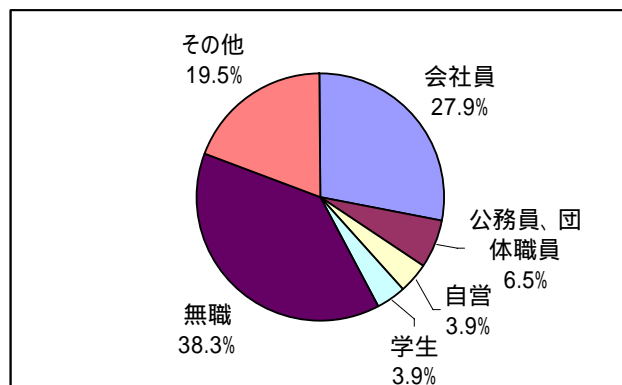
問3 あなたのお住まいの地域を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	46	29.9
湖南地域	38	24.7
甲賀地域	17	11.0
東近江地域	22	14.3
湖東地域	13	8.4
湖北地域	12	7.8
高島地域	6	3.9
合計	154	



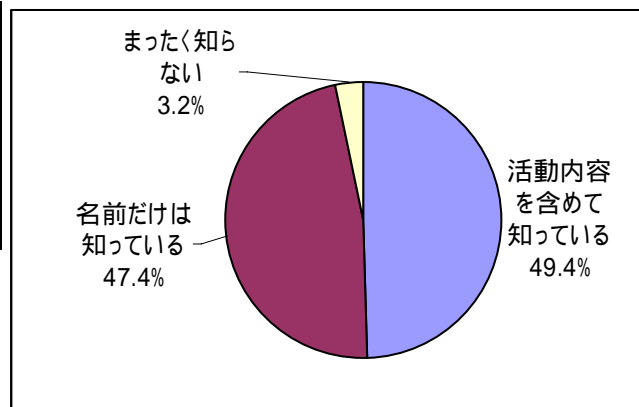
問4 あなたのご職業を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
会社員	43	27.9
公務員、団体職員	10	6.5
自営	6	3.9
学生	6	3.9
無職	59	38.3
その他	30	19.5
合計	154	



問5 あなたは消防団を知っていますか。

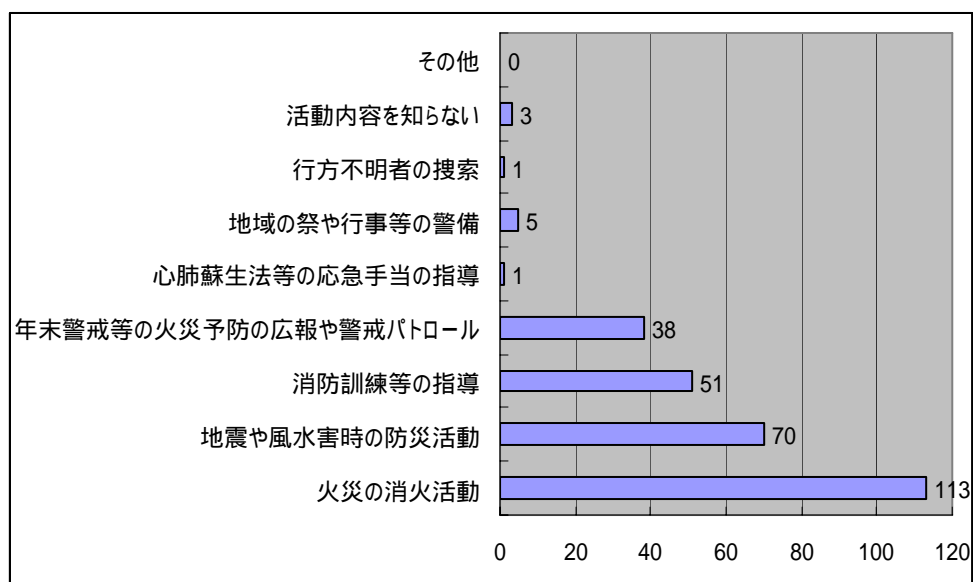
項目	人数(人)	割合(%)
活動内容を含めて知っている	76	49.4
名前だけは知っている	73	47.4
まったく知らない	5	3.2
合計	154	



問6 消防団の主な活動のうちイメージが強いのはどの活動ですか。

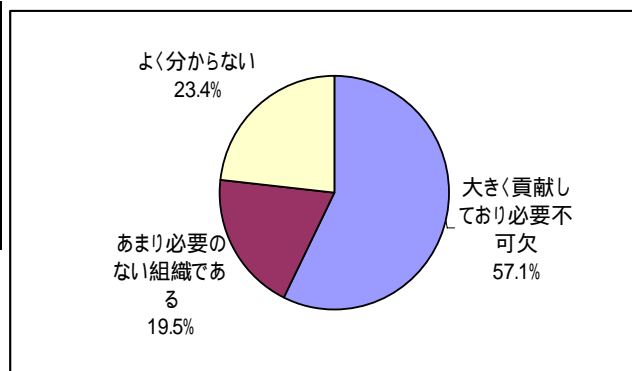
( は3つまで)

項目	人数(人)	割合(%)
火災の消火活動	113	73.4
地震や風水害時の防災活動	70	45.5
消防訓練等の指導	51	30.2
年末警戒等の火災予防の 広報や警戒パトロール	38	24.0
心肺蘇生法等の応急手 当の指導	1	0.7
地域の祭や行事等の警備	5	3.2
行方不明者の搜索	1	0.7
活動内容を知らない	3	2.0
その他	0	0.0
合計	154	



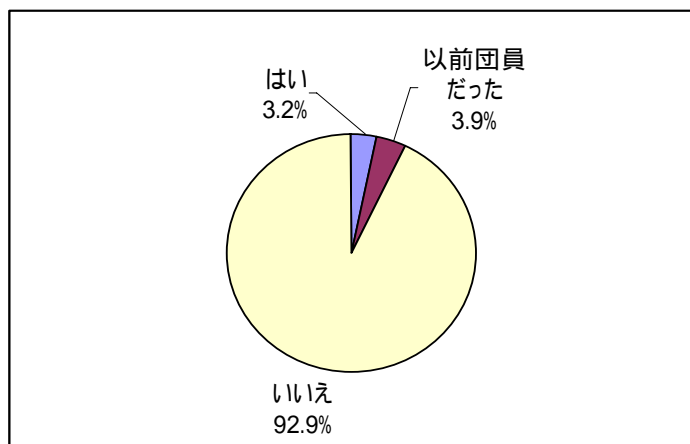
問7 あなたは消防団活動をどのように評価されますか。

項目	人数(人)	割合(%)
大きく貢献しており必要不可欠	88	57.1
あまり必要のない組織である	30	19.5
よく分からない	36	23.4
合計	154	



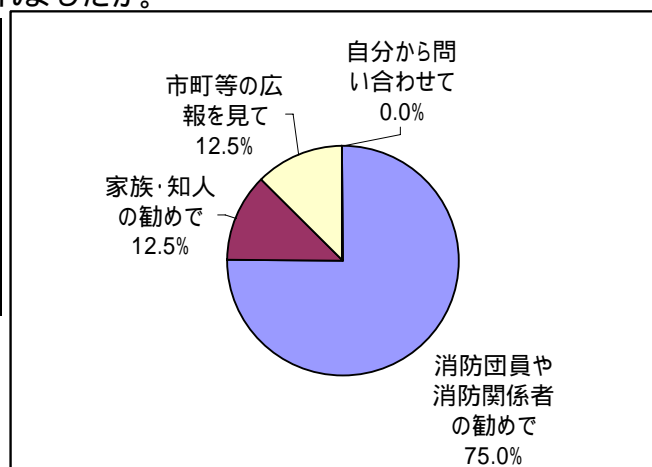
問8 あなたは消防団員ですか。

項目	人数(人)	割合(%)
はい	5	3.2
以前団員だった	6	3.9
いいえ	143	92.9
合計	154	



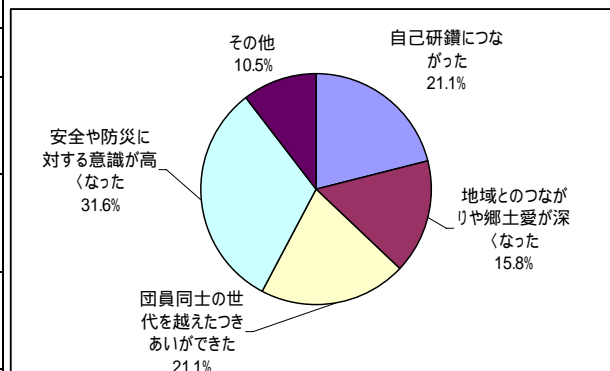
問9 問8で「1. はい」または「2. 以前団員だったが退団した」と回答された方にお聞きします。どのようなきっかけで入団されましたか。

項目	人数(人)	割合(%)
消防団員や消防関係者の勧めで	6	75.0
家族・知人の勧めで	1	12.5
市町等の広報を見て	1	12.5
自分から問い合わせ	0	0.0
合計	8	



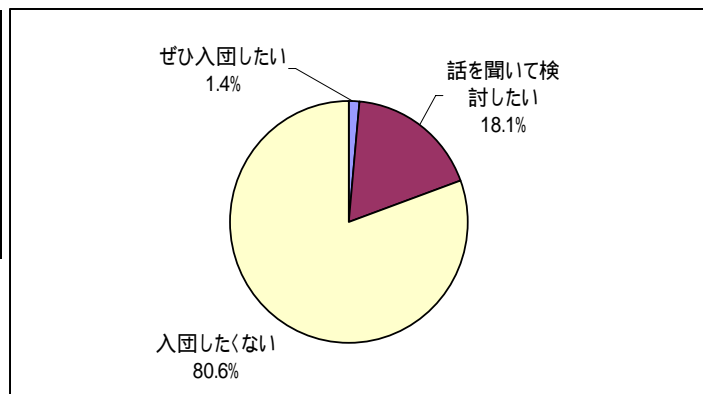
問 10 問8で「1. はい」または「2. 以前団員だったが退団した」と回答された方にお聞きします。消防団に入団してよかったと思われることは何ですか。( は2つまで)

項 目	人数(人)	割合(%)
自己研鑽につながった	4	21.1
地域とのつながりや郷土愛が深くなった	3	15.8
団員同士の世代を越えたつきあいができた	4	21.1
安全や防災に対する意識が高くなった	6	31.6
その他	2	10.5
合計	19	



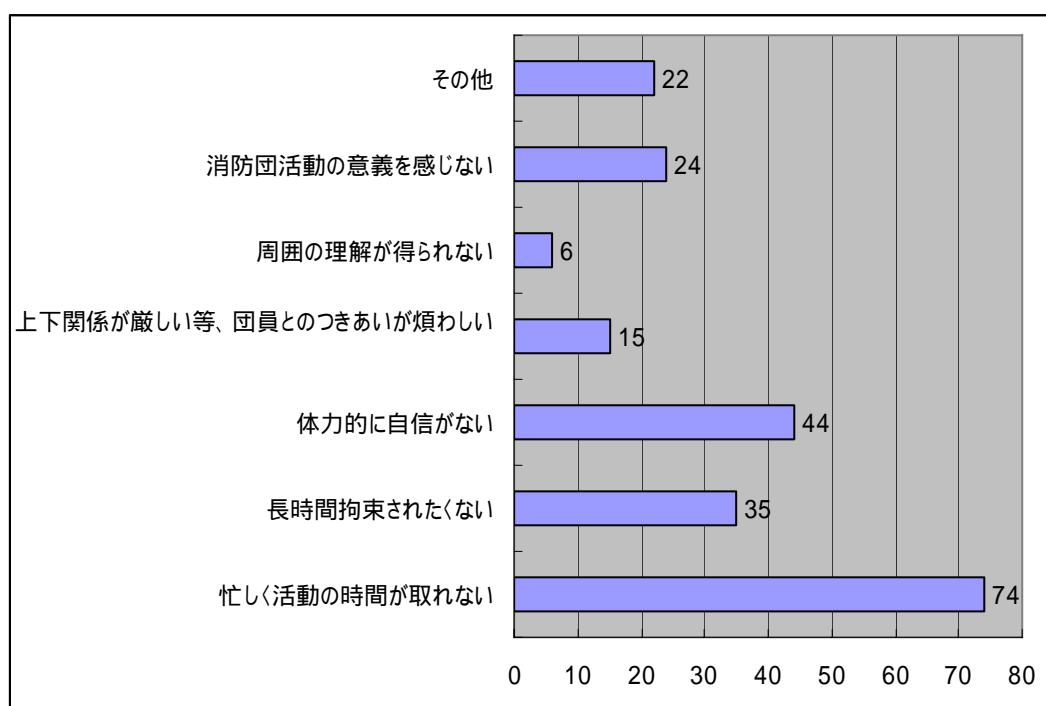
問 11 問8で「3. いいえ」と回答された方にお聞きします。あなたは消防団に入団したいと思いますか。

項 目	人数(人)	割合(%)
ぜひ入団したい	2	1.4
話を聞いて検討したい	26	18.1
入団したくない	116	80.6
合計	144	



問 12 問 11 で「 2 . 話を聞いて検討したい」または「 3 . 入団したくない」と回答された方にお聞きします。あなたが入団を躊躇する理由は何ですか。( は2つまで)

項 目	人数(人)	割合(%)
忙しく活動の時間が取れない	74	33.6
長時間拘束されたくない	35	15.9
体力的に自信がない	44	20.0
上下関係が厳しい等、団員とのつきあいが煩わしい	15	6.8
周囲の理解が得られない	6	2.7
消防団活動の意義を感じない	24	10.9
その他	22	10.0
合計	220	



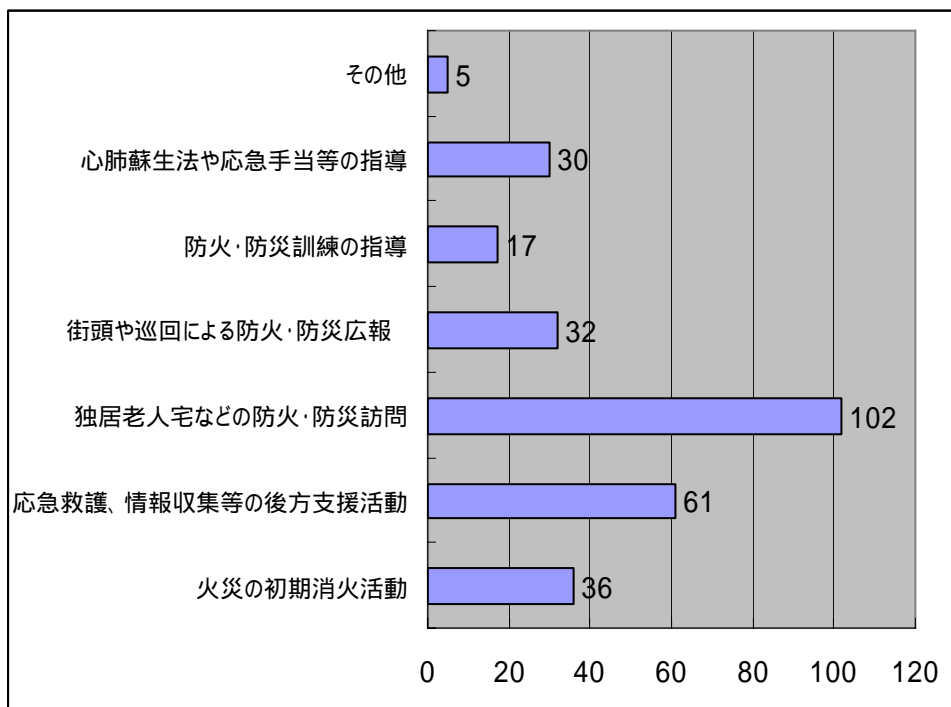
問 13 問 11 で「 2 . 話を聞いて検討したい」または「 3 . 入団したくない」と回答された方にお聞きします。消防団がどのようになれば入団したいと思いますか。

(自由記載)

- ・ どのような形になってもあまり入団したくないというのが本音です。
- ・ 現在の活動内容と意義を詳しく知ることができれば、できる範囲で参加、協力してみたいと思います。
- ・ 老人クラブのような親睦を中心とした組織で、その中で地域に貢献できるような活動をするような場合。
- ・ 女性でも、少ししか時間がなくても、何か役に立てると実感できるなら。
- ・ 主人が入団できないような状態となり、かつ他に適当な団員該当者がおらず、自分の入団が必要不可欠な状況。
- ・ 拘束時間の短縮や、特定の方だけへの負担等がなくなれば。
- ・ 自治体の役員の様に、強制力が働き、せざるを得ない状況で入団はすると思いますが、積極的に入団したいとは思わない。
- ・ もっと住民にとって身近な存在になれば、検討したいと思います。
- ・ 時間を犠牲にしない程度の活動があれば。
- ・ 自分の環境が整えば(子供も大きくなって)。
- ・ 現在入団している友人から、付き合いが大変だと聞いているので、どのようになっても入団したくない。
- ・ 消防団を近隣の町内会で組織して、もっと地域に密着したものにすれば。
- ・ 自分の身体的な健康が回復すれば入団する。
- ・ もっと身近な形で普及活動があれば。年齢や性別を問わずに、みんなが参加できるシステムがあれば。
- ・ 勤務している地域での消防活動で、しかも会社が積極的に応援し、理解があれば。
- ・ 地域の情報や救急手当など得るべき知識が多ければ検討したい。
- ・ 活動の内容によって手当が出れば。
- ・ 個々の負担がなくて、責任がないなら。
- ・ 完全なボランティアではなく、少しでも活動参加の報酬が出ればいいと思う。
- ・ 消防訓練の大会が大変そうなので、無ければ入団できるかも知れません。
- ・ 自分の空いている時間に自由に活動できるといいと思う。

問 14 滋賀県では現在 180 名以上の女性消防団員が活躍しています。あなたは女性消防団員にどのような活動を期待しますか。( は2つまで)

項 目	人数(人)	割合(%)
火災の初期消火活動	36	12.7
応急救護、情報収集等の後方支援活動	61	21.6
独居老人宅などの防火・防災訪問	102	36.0
街頭や巡回による防火・防災広報	32	11.3
防火・防災訓練の指導	17	6.0
心肺蘇生法や応急手当等の指導	30	10.6
その他	5	1.8
合計	283	

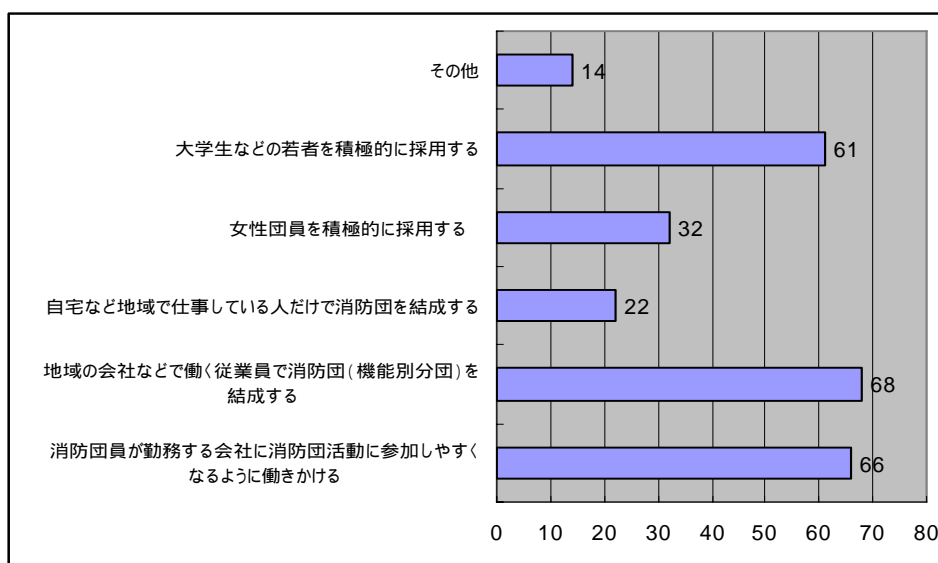




問 15 最近では消防団員の多くが会社などに勤めており、災害時の迅速な出動が難しくなってきました。今後消防団を充実させるにはどうすればよいと思いますか。

( は2つまで)

項 目	人数(人)	割合(%)
消防団員が勤務する会社に消防団活動に参加しやすくなるように働きかける	66	25.1
地域の会社などで働く従業員で消防団(機能別分団)を結成する	68	25.9
自宅など地域で仕事している人だけで消防団を結成する	22	8.4
女性団員を積極的に採用する	32	12.2
大学生などの若者を積極的に採用する	61	23.2
その他	14	5.3
合計	263	



問16 消防団に対するイメージや要望等を自由にお書きください。

- ・ 色々しなくてはいけなくて大変そうなイメージがあります。
- ・ 現実の活動状況や問題を含めて広報活動も必要かと思う。地域のために誇りを持って活動する姿が知られると入団を希望する青年も現れるのではないか。
- ・ 消防署との関係など一般にわかっていない。このアンケートを見て再認識しま

- した。PRが不足しているように思います。
- ・ 地域に貢献している団体だとは思いますが、外から見ると、封建的・閉鎖的なイメージがある。
  - ・ 若い間に、たとえば30歳くらいまで強制的に2年間程度、各地域の消防団に入ってもら制度を作ってもよいのではないか。
  - ・ 狭い地域で集団で活動しているイメージ。私は横浜から引っ越してきましたが、他の地域から転入したものは参画しにくいイメージ。
  - ・ ゲリラ豪雨で被害に遭われた地域の様子などニュースで見ると、恐ろしくて自分では何もできないことがよくわかる。万が一災害が起きた時に頼りになるのが消防団の皆さんの活躍だと思う。
  - ・ 今まで消防団を身近に感じていないためか、どのような活動をしているのかあまり知りませんでした。女性消防団の存在も初めて知りました。もっと活動内容などを知る機会があればいいと思いました。
  - ・ 新年の出初式では沢山の消防車や多くの消防団員の姿を見て、身が引き締まる思いがします。同時に自分の地域に無いことを思い不安に思います。
  - ・ ちびっこ消防団があれば良いと思う。子供の頃から防災に対する知識をつけたり、またその活動で地域内のつながりもできると思う。奉仕の精神も生まれると思う。そのような団体なら是非子供を入団させたい。
  - ・ 消防団の存在意義を明確にすべきと思う。少なくとも一般の住宅地においては、自衛のための各家庭での初期消火や応急手当ができるように練習を地域で行っていくのが良いであろう。また学校での教育も必要であろう。
  - ・ 以前私の近隣で火災があり、地元の消防団員の迅速な消火活動に感心させられたことがあります。特に入り組んだ田舎の道、各消火栓の場所などを知り尽くした地元消防団の力は大きいと思います。
  - ・ 先日防災訓練に参加したが、女性団員の指導は好印象でした。
  - ・ 詳しく知らないので今後調べたいと思いました。
  - ・ 地域に根ざしている代々の家の人々がやっていること。通勤族や都市から転居してきた人にとってはなじみや関心がない。
  - ・ 地域のどなたが消防団員なのかもわからず、具体的にどれだけの活動をしているのかもわからないので、消防団は遠い存在です。
  - ・ 大変御苦労いただいている。地域の強い結びつきを担っている。
  - ・ はっぴを着ている古いイメージがある。
  - ・ 大変御苦労さまです。できる限りサポートしたいと思います。